

オーストラリア研修 3日目 (3月9日)



今日是一日 St. Jhon Paul College だった。校門から入ってすぐのところに「Welcome」と書かれた横断幕があり、とても嬉しく思った。学校の前の道路は広く幹線道路のようだが、学校の周りは木々が多く、緑豊かだった。グラウンドは全面芝生で、「オーストラリアクロトキ」という日本では見かけない鳥がたくさんいた。この鳥は芝生をつついて土の中の虫を探しているようだったが、よくゴミを荒らすので厄介者らしい。8時40分頃までに皆登校し、最初に、準備していたプレゼンをした。出発前に5つの班に分かれて、それぞれ日本の自然や食べ物、スポーツなどについて調べてスライドにまとめていたものだ。発表中に、みんなで相撲の四股を踏む練習をしたり、クイズを出したり、「日本はオーストラリアから鉱物をたくさん輸入しています。ありがとうございます(お世話になっています)」と言ったりして盛り上がり、和やかな雰囲気の中で発表を終えることができた。



(スポーツ班だけメンバー同士の間隔が開いていたのでまとめて撮れなかった)



その後、Welcome lunch があった。「lunch」と言っても、メニューは小さなミートパイとソーセージパイ、ビスケット、そして、オーストラリアの伝統的なお菓子のラミングトンだったので、「おやつ」に近いかもしれない。ラミングトンは



カステラの周りをチョコレートでコーティングしてココナッツをまぶしたもので、見た目よりも甘すぎずおいしかった。

その後、途中で20分の休憩をはさんで、それぞれバディと一緒に、英語や数学、地理、幼児教育、体育、科学など、3つ授業を受けた。オーストラリアの英語の発音は日頃授業で習っていないものが多く、聞き取るのに一苦労するが、助けてくれるバディがいるし、先生方もとても親切で優しいので、頑張ることを楽しくできた。美術室の椅子は独特で、床面が円錐状になっていて、少し不安定になっていた。美術の先生は真野先生に「生徒の眠気防止になるのよ。それに、腹筋も鍛えら



れていいのよ」と冗談交じりに話されていた。



今日は一日、雨が降ったりやんだり、時にはスコールのように激しい雨が降ったりしていて、少し肌寒いような、少し蒸し暑いような天気だった。